

令和7年度「信州つばさプロジェクト」県企画プログラム「グローバルインターンシップコース」
企画・運營業務委託に関する質問と回答

質問① 委員会の皆さまの思いについて。本事業に対して、委員の皆さまがどのような思いをお持ちでいらっしゃるか、例えば、「特にどのような高校生にこの機会を届けたいか」「参加前と後で、高校生にどのような変容を届けたいか」など、何かあれば、教えていただけますでしょうか。想いを反映したプログラム設計を大切にしたいと考えており、ご教示いただけますと幸いです。

- ・仕様書「2 事業目的」に記載のとおり、高校生が、企業等でのインターンシップを通して国際感覚を養い、現地高校生との英語での異文化交流や学習を通じて国際的な視野を広げ、グローバルな社会で活躍できる人材となることを期待しています。

質問② プログラムの実施レベルについて。現地での活動イメージとして、視察形式ではなく、例えば、参加生徒が事前研修で企画した内容を現地で実践する形式など、アウトプットを重視する構成にすることは問題ないでしょうか。

- ・事業目的を果たせるようなプログラムであれば、現地での活動の構成についての指定はありません。

質問③ 事前研修における謝金予算について。事前研修に外部登壇者を招く可能性があるのですが、1回あたりの謝礼に対して予算があるか、ご教示いただけますでしょうか。

- ・仕様書「10 その他(8)」に記載のとおり、事前学習に係る講師の謝金は本契約とは別とし、実行委員会が予算の範囲内で負担します。

質問③ 研修における弊社スタッフ体制について。弊社では、生徒一人ひとりの変容に伴走するアクセラレーターを事前研修・現地渡航・事後研修すべてに配置する方針です。危機管理体制を考慮しつつ、適切な体制（1～2名）をこちらで設計予定ですが、人数は予算内であれば柔軟に決めて問題ないか、確認させていただきますと幸いです。

- ・予算内であれば、人員体制は、柔軟に決めていただいてもかまいません。